様式3

学校番号 74

令和　7　年度　学校評価書　（ 計画段階 ）

福岡県立　八 女　高等学校

スクール・ミッション （本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像）	知・徳・体の調和のとれた、地域で活躍できる人材を育成する学校 探究的な学習活動や学校行事、部活動を通じて全人教育を行い、大学進学をはじめとする生徒一人一人の希望進路実現を図り、地域社会に貢献できる人材を育成します。	
スクール・ポリシー （三つの方針）	グラデュエーション・ポリシー （育成を目指す資質・能力に関する方針）	1　自立的に判断し、行動できる。 2　物事を多面的に探究できるとともに、周りと協働して課題解決を進めることができる。 3　礼節を重んじ、他人を思いやることができる。 4　高い社会性を持ち、地域や社会で活躍できる。
	カリキュラム・ポリシー （教育課程の編成及び実施に関する方針）	1　授業の充実を図るとともに、適切な観点別評価を実施し、生徒一人ひとりの良い点を伸ばす。 2　総合的な探究の時間を通じて、地域や社会の課題と向き合わせる。 3　主体性・創造性・他者理解・批判的思考力・構想力・見通す力・コミュニケーション力・自己調整力の8つの資質能力を培う魅力ある教育活動を実践する。
	アドミッション・ポリシー （入学者の受け入れに関する方針）	1　志を高く持ち、主体的に行動できる人 2　知的好奇心に富み、学力優秀である人 3　部活動、生徒会活動等において学校の活性化等に寄与できる人 4　地域や社会に貢献しようとする意識が高い人

学校運営計画（4月）

学校運営方針			評価（総合）
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
昨年度の学校満足度調査の結果を見ると、生徒と保護者の間にやや差が見られる項目はあるものの、多くの項目で高い評価を受けており、年度重点目標は概ね達成できたと考えられる。 今年度は生徒の自立的、主体的行動をより一層促し、「自ら学び、挑む」ことができるよう、指導体制を整えることで、「知徳体」の調和がとれた、地域や社会で活躍できる人材の育成を目指す。 また、各種教育活動において「良いもの」を持続していくことができるような仕組みづくりを模索するとともに、生徒たちの日々の頑張り、本校の良さを随時発信していく。	「基礎的・基本的な知識及び技能」を確実に習得させ、これらを活用し課題を解決するために必要な「思考力」や「判断力」「表現力」等を育成する。とりわけアウトプットの能力（表現力）の育成を重視する。	○質の高い授業を行うとともに、効果的な考査問題の作成に努める。 ○観点別評価については「指導と評価の一体化」を目指し、検証に努める。 ○「深い学び」につなげるためにアウトプットの機会を多く設ける。	
	「自己有用感」や「自己存在感」を感受させることを通じて、生徒自身の「自己肯定感」を育み、「自己指導能力」を身につけさせる。	○生徒一人一人が「自分も一人の人間として大切にされている」と実感できる機会を敢えて設ける。 ○他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決定できる能力を育成する。	
	学校への帰属意識を高めさせるとともに、明朗な精神と積極性を大切にさせる。また、自他を認め合う共感的人間関係や、相互扶助的な人間関係を構築する能力を育成する。	○何事にも明るく、積極的に取り組もうとする姿勢を評価し、支援する。 ○「間違えることや失敗することを恐れない」学校文化を構築する。 ○自他を認め合う人権尊重の精神や「いじめ」を許さない精神を育成する。	
	広報活動については、迅速・的確を旨とし、本校生徒の良さ、本校の良さを中学生や地域に向けて発信していく。	○HP等については、ことある毎に更新し、適宜外部への情報発信に努める。 ○できうる限り、生徒を前面に出した広報活動を行っていく。	
	外部資源（外部講師招聘、地域・県・国の取組への積極的参加、関係団体との連携）等を活用して幅広い見方・考え方を育成する。	○外部講師の積極的な招聘、地域・県・国の取組みへの積極的な参加、関係諸団体との連携などを可能な限り行い、地域や社会と一体となった教育活動を展開する。	
	本校の存在意義を地域と共有し、地域から期待される、信頼される学校をつくる。	○保護者や地域の本校に対する教育的ニーズを的確に把握し、その期待に応えることにより、地域から信頼され、期待される学校作りに繋げる。	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の項目等	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の結果等
教務	授業改善を推進し、グランドデザインで挙げられている「8つの資質・能力」の育成を図る。	学習指導要領の趣旨を踏まえ、3観点による観点別評価を確実に実施し、授業改善につなげる。	授業アンケート 学校満足度調査	
		単元（学習内容のまとまり）ごとに学習の振り返りを行い、主体的に学習に取り組む態度を育成するとともに、指導と評価の一体化を図る。		
		考査問題の質を向上させ、定期考査の学習が学力の向上につながるようにする（国語・地理歴史・数学・理科・英語の考査問題については、思考力や読解力育成に資する出題を1割以上行う）。		
	生徒の自学力を高め、家庭学習を質・量ともに充実させる。	各教科において、シラバスを活用して学習の目的、内容、学習方法、評価の観点についてのガイダンスを適宜行うことで、主体的に学習に取り組む態度を育成する。	授業アンケート	
		ホームルーム活動の時間を活用し、学習方法や学習計画について考えさせ、学習の自己調整力を身につけさせる。		
企画広報	職員間や保護者との連携を促進しながら活動を支援し、諸行事の円滑な遂行を図る。	各分掌との打ち合わせを密にし、学校行事等が円滑に運営できるよう支援する。	学校満足度調査	
		職員・PTA役員・保護者間の連携を密にし、PTA活動が充実するよう支援する。		
	在校生・中学生・保護者・同窓会・地域社会に対する広報活動を充実させ、魅力的な八女高校の姿を発信していく。	「八女高だより」や看板・横断幕、ホームページ、SNS等を活用したりすることで、八女高生の活動の様子を迅速かつ頻繁に紹介する。	中学生体験入学アンケート	
		中学校での進路説明会において、本校および本校生の魅力をアピールし、生徒募集に繋げる。		
		中学生体験入学の内容を充実させ、中学生・保護者に対し、本校の教育活動への理解を図る。		
生徒指導	状況を把握し、主体的に行動することができる自律した生徒の育成	在学中に成年年齢に達することを踏まえ、学校生活内外での教育活動を通して、ルールやマナーの大切さを理解させ、規範意識を向上させる。	学校満足度調査	
		生徒会活動や各種委員会活動、学校行事の運営に、生徒一人ひとりが積極的に参加できる環境を整える。		
		年度初め等の個人面談により生徒理解に努め、個々に応じた自主性や自律性を喚起する。		
	謙虚で直向きな姿勢で物事に取り組み、思いやりや感謝の心を持つ共感的な生徒の育成	授業や清掃活動等、日々の学校生活に真摯な態度で臨ませることにより、生徒間・生徒教師間の信頼関係を構築させ、謙虚・感謝の心を育成する。	学校満足度調査	
		「立ち止まって挨拶」「校門一礼」を奨励し、感謝の心を育み、相手に伝わる心のこもった挨拶ができる生徒を育成する。		
		部活動を通して自己指導能力や人間形成を図るため、部活動加入率80%以上を目指す。また、部活動等における上位大会出場を目指す。（九州大会以上…5部、県大会…12部）		
	安心・安全な環境を整える安全管理	交通マナーの意識を向上させ、交通事故「0」を目指す。特に、バイク通学者、バイク免許取得者、自転車通学者に対して、加害者側の可能性も含めた指導を行う。	学校生活アンケート 「いじめ」に関するアンケート 家庭用チェックリスト（保護者用） 学校満足度調査	
		人権教育やいじめについて、日々のホームルームや集会等を通して、相手の立場や気持ちをくみ取り、尊重することを学ばせ、自他を大切にする思いやりの心を育成する。		
		部活動や学校行事における事故・ケガの防止や早期対応のための能力を育成する。また、不審者情報の速やかな提供等、危機管理マニュアルの活用により安全対策を図る。		

様式３

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の項目等	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の結果等
保健	生徒の心身の健康の保持増進	学校保健安全の行事や活動を通して、心身の健康に関係を持ち、正しい知識を学び、自ら行動できる能力の育成と実践力の向上を図る。	学校満足度調査	
		担任からの相談や学年会等での事案については連携して対応する。また、教育相談委員会を定期的に開催し、「気になる生徒」や「配慮を要する生徒」に関する情報を職員間で共有し、対応について協議を行い、その対策については、学校全体で組織的にあたる。		
		スクールカウンセリングや健康教育推進事業（性と心の健康相談）、訪問相談等を計画的に実施し、学校医やSC、SSWの指導・助言を受けながら、関係職員や関係機関と連携し生徒や保護者の支援に当たる。		
	学校安全及び環境衛生の整美	生徒のけがや病気に対する、適切な処置と対応を行う。	学校満足度調査	
		学校管理下において学校薬剤師の指導を仰ぎながら、学校環境衛生検査の実施報告を行い、環境衛生の整備に努める。		
		「美化充実期間」や学校行事前後など、計画的に清掃活動を強化・点検し、清掃の徹底を図る。		
	委員会活動の活性化	生徒が活動できる場と環境をつくる。	学校満足度調査	
		委員会活動をとおして、個々の潜在能力を生かし、主体的に行動できる生徒育成を目指す。		
キャリア教育	生徒の社会性・自己肯定感を高め、早期からの進路意識の高揚を図る。	生徒の進路意識を高めるために、「進路講演会」や「進路ガイダンス」をはじめとする進路関係行事を計画的に企画・実施し、生徒を積極的に参加させる。	学校満足度調査 ポートフォリオ キャリア・パスポート	
		「総合的な探究の時間」はキャリア教育の視点、及び、大学進学・公務員就職での活用の視点を持ち、１年次に「進路探究」、２年次に「ちきゅうみらいプロジェクト」を体験させることで、主体的に自分の進路について考えさせる。		
		生徒の進路希望を的確に把握するために、各学期１回の進路希望調査を行い、職員間で共有する。また、生徒のキャリア意識の形成を図るために、各学年と提携して「ポートフォリオ」、「キャリア・パスポート」を入力させる。		
	課外・長期補習・土曜セミナーの更なる充実を図り、生徒の基礎学力の伸長を図る。	生徒の進路希望完全実現を図るために、課外授業・長期補習・土曜セミナーを効果的に実施する。	学校満足度調査 進路実績	
		公務員試験を受験する生徒の進路希望実現を図るために、2年生2学期期末考査後からの公務員課外、3年生公務員早期課外や公務員専門学校と連携した公務員専門科目・面接対策を企画・実施する。		
情報	一人１台端末を授業や家庭学習に利活用できるよう、教員のスキルアップを図る。	校内外での活用事例を収集し、それを閲覧する環境や研修会を企画する。	学校満足度調査	
		教員とICT支援員とのパイプ役を担い、授業へのICT活用について相談しやすい環境をつくる。		
	校務支援システムや各種業務のICT化について、業務のスリム化に繋げると共に、誰でも扱えるようにする。	校務支援システムについては、教務・進路・保健等の各担当者が業務に取り組めるようなシステム設定やサポート体制を確立する。	なし	
		Google ClassroomやFormsなどの活用については、各担当者が実務を担えるようなマニュアル作成等のサポート体制を充実させる。		
	Classi活用の充実を図る。	一人１台端末を使ったClassiの利用を通して、更なる活用を推進する。	学校満足度調査	
		個別最適化された学びの実現に繋げるため、スタディサポート・連動課題配信・外部模試等と連携する方法を周知し、Classiの活用を促進する。		

様式３

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の項目等	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の結果等
研修	教員のキャリアとニーズに応じた研修の充実を図る。	「Find！アクティブラーナー」を活用し、職員一人一人のキャリアやニーズに応じて研修ができるような環境を整える。	なし	
		「Find！アクティブラーナー」の視聴による個人研修の成果を授業改善シートに記入し、学校全体で共有する場を職員研修で設け、組織的な授業改善を図る。		
	年間を通じたマネジメントサイクルを取り入れることにより、組織的な授業改善を推進する。	学校独自の授業改善シートを活用することにより、マネジメントサイクルに基づいた授業改善を推進する。	授業アンケート	
		Google Formsを活用して授業アンケートを実施し、それぞれ、取り組み指標及び検証指標の作成、成果と課題分析のための情報収集の支援を行う。		
		相互授業参観期間を設け、研究授業や授業の相互参観を推進し、実践・参観・協議を通して、授業改善を図れるよう支援する。		
第１学年経営	基本的生活習慣を確立させ、学校に居場所を作る。	自身の「体調管理」、自身に関わる「時間の管理」を自分で行うことの意義を伝え、日々の生活の中で意識して実践させる。	学校満足度調査	
		安全な登校、落ち着いた学校生活のために始業開始5分前着席、準備を促す。		
	自己肯定感を高め、自他を尊重できる人間を育成する。	生徒の成長を職員間で共有し、生徒を褒める機会（時間・場所）を多く作ることで生徒の自己肯定感を高める。	学校満足度調査 学校生活アンケート	
		部活動や校内外の行事への積極的な参加を促し、活躍の場を作ることで、人間関係構築力や状況判断力、リーダーシップの育成を図る。		
	学習習慣を確立させ、基礎学力の定着を図る。	学習の面白さを理解し、授業を通して基礎的・基本的な知識・技能を習得することで、主体的に学習に取り組む態度を育成する。（自習室利用の推進）	学校満足度調査 授業アンケート	
		「総合的な探究の時間」を通して社会問題への関心を高めるとともに、課題発見力や探究活動の基礎的な方法を身につけさせる。		
第２学年経営	人間力と社会性を育成し、八女高のリーダーとして自覚ある行動をさせる。	八女高の中軸の学年であることを理解させ、学校行事に責任を持って積極的に取り組ませることで、行動力や的確な状況判断力を養い、リーダーの育成を図る。	学校満足度調査 学校生活アンケート	
		八女高生としてふさわしい服装・頭髪、心のこもった挨拶や場に適した言葉遣いができるようにするとともに、ルールやマナーを遵守させることで規範意識を高める。		
	進路実現のために、基礎学力の定着を図るとともに応用力も身に付けさせる。	思考力・判断力・表現力等を育成するため、指導内容・指導方法の工夫を図り、質の高い授業を行うとともに、効果的な考査問題の作成に努める。	学校満足度調査 進路希望調査	
		学力に応じた個別最適な学びを通して、主体的に学習に取り組む態度を育成し、基礎基本の定着を図るとともに、応用力も身につけさせる。また、HR・学年集会・個人面談で大学入試等の進路情報を的確に伝え、目標を明確にすることで、学習意欲を向上させる。		
	学校生活を通して自他尊重の精神を育成し、自己肯定感を高める指導を行う。	他者の個性や主体性を尊重しながら、自らの行動を決定できる能力を育成する。また、生活規則の確立や体調管理等、自己管理能力を高め、出席皆勤率70%以上を目指す。	学校満足度調査 学校生活アンケート	
		学校生活に適応できない生徒を早期に把握し、生徒理解に努めて保護者や養護教諭と連携を図り、学年全体で情報を共有して適切な指導を行う。		

様式３

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の項目等	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の結果等
第3学年経営	何事も素直に前向きにやり通す力や協働の精神の涵養を図り、高い社会性を備え、社会に貢献できる生徒を育成する。	基本的生活習慣を確立させ安易な遅刻・欠席をせず、全教育活動を通して粘り強く努力が出来る、心身ともに逞しい生徒の育成を目指す。	学校満足度調査 学校生活アンケート	
		「凡事徹底」一つひとつ着実に努力を重ね、間違えることや失敗することを恐れず、何事も自分のこととして受け止め、よりよく問題を解決するために自分が取り組もうとする主体性を育み、協働性を高める。		
	自己の在り方・生き方についての自覚を深め、経験を通じて確かなキャリア形成を図り、一人ひとりの希望進路実現を目指す。	「総合的な探究の時間」をはじめとするあらゆる授業の探究学習を通して、自己の在り方・生き方に照らし、自己のキャリアの方向性と関連付け、高い志を抱くことで、希望進路を明確にする。	学校満足度調査 進路希望調査	
		これまでの学校内外の活動等で培った強みを引き出し、学校推薦型・総合型選抜入試を見据えて、一人ひとりの生徒に見合った受験方法を全職員で模索し、生徒に自己決定させるガイダンス機能の充実を図る。		
	学校生活を通して自他の良さに気付かせ、生徒の自己肯定感を高めることで、自信につなげる。	最高学年としての高い意識を持ち、学年行事等の実体験を通じて、リーダーシップおよびフォロワーシップを育み、生徒相互のリレーションシップの向上を目指す。	学校満足度調査 学校生活アンケート	
		学校行事やボランティア活動などに積極的に参加させるとともに、外部機関と連携し講演や活動などの様々な体験を通して、自他の良さに気付かせ、生徒一人ひとりの強みを引き出し、伸ばすことができるようにする。		
事務	電話応対・来客接遇の向上を図る。	電話対応や来客対応において、相手の立場に立った丁寧な対応を心掛け、接遇の向上に努める。	学校満足度調査	
	施設・設備の適切な維持管理を行う。	定期的に校内巡視を行い修繕等必要な個所等を把握するとともに、必要に応じて予算要求を行い適切な施設の維持管理に努める。	なし	
	効果的な予算執行を行う。	職員に対して節電、用紙の節約等を呼び掛けることで経費の節減を図り、教育活動充実のための効果的な予算執行に努める。	なし	